令和5年度入省予定　環境省一般職理工系

内定者の声

内定者プロフィール

公務員試験対策

官庁訪問体験記

はじめに

「内定者の声」を手に取っていただき、ありがとうございます。
本書は未来の仕事仲間たる皆さんの不安や疑問を解消するために、内定者の私たちが作成したものです。第1部では「内定者はどのような人か」、第2部では「公務員試験をどのように乗り切ったか」、第3部では「官庁訪問はどうだったか」について記載しています。
ぜひご参考にしてください！

2022年12月　環境省一般職理工系内定者一同

本冊子の構成

はじめに

第1部 内定者を知ろう！（P.2 ～ P.13）

- 内定者の基本データ（学科/専攻、性別、就活スケジュールなど）
- 志望動機
- 環境省を志望される方へのメッセージなど

第2部 公務員試験を知ろう！（P.14 ～ P.27）

- 内定者の公務員試験基本データ（試験区分、席次など）
- 勉強量について
- 勉強内容・試験内容について

第3部 官庁訪問を知ろう！（P.28 ～ P.38）

- 環境省の官庁訪問について
- 内定者の官庁訪問基本データ（併願先など）
- 官庁訪問参加者による座談会

おわりに

※環境省Webサイトでも公開しております。
(https://www.env.go.jp/guide/saiyo/cat_ra2/from_pe/index.html)

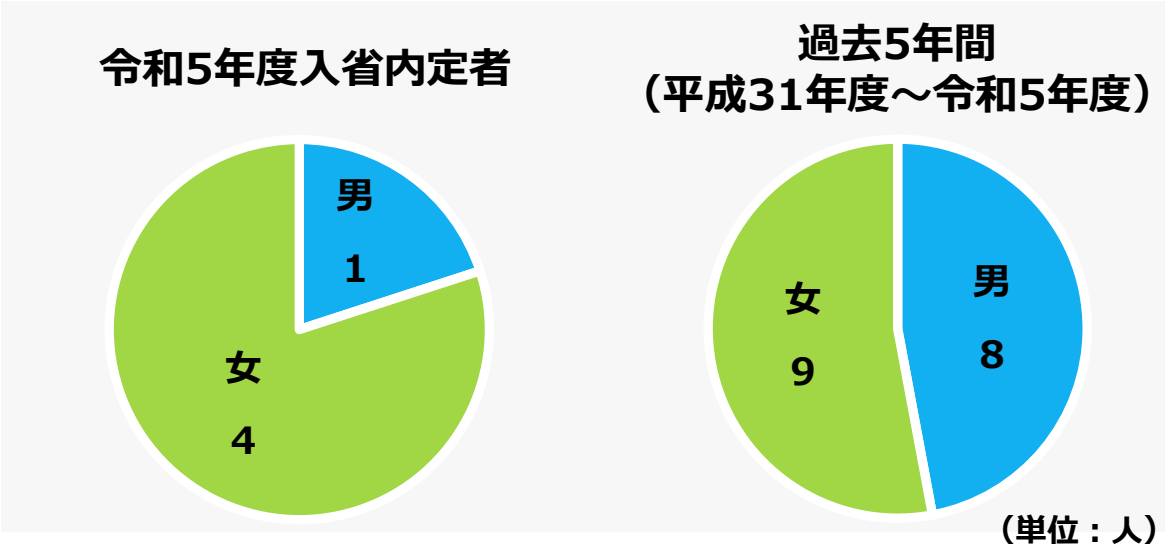
1.　内定者を知ろう！

第１部．内定者を知ろう！

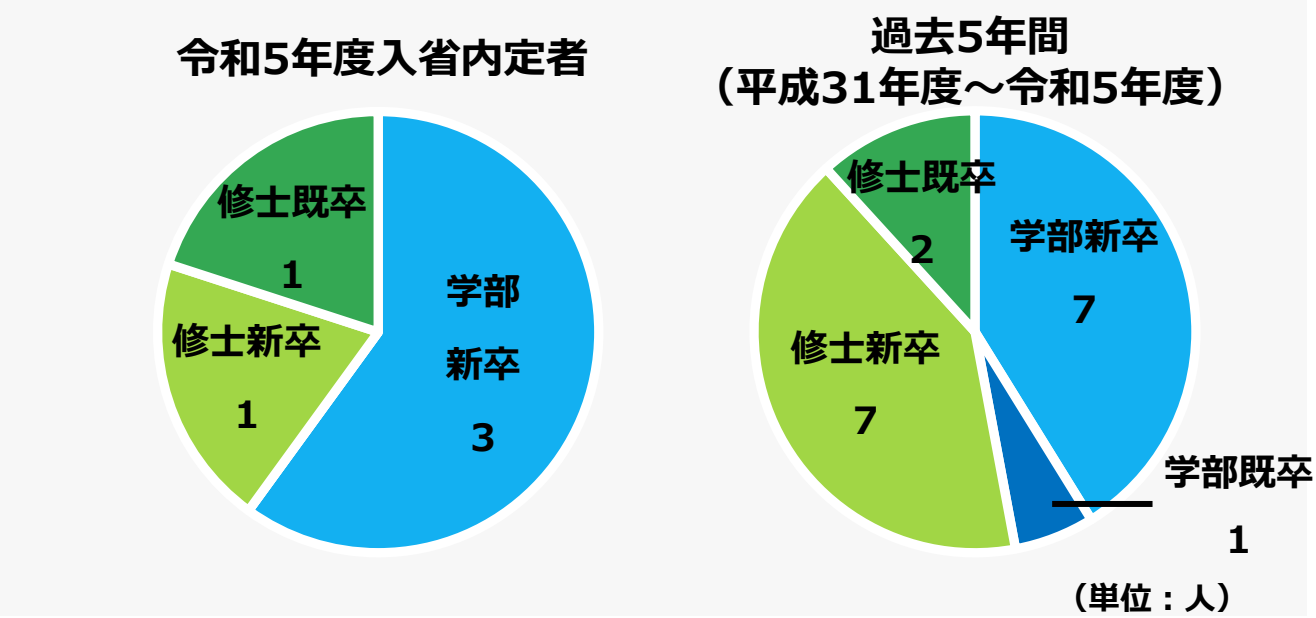
令和5年度入省予定の一般職理工系内定者は、全5名となりました。第1部では、まず今年の内定者の内訳を過去5年間（平成31年度から令和5年度まで）のデータと併せて概説したのち、内定者各人のプロフィールを掲載しています。また、個人情報保護の観点から実名の代わりに各内定者のペンネームを使用しています。あらかじめご了承ください。

□ 内定者の基本データ

□ 男女比



□ 最終学歴



次のページからは一般職理工系内定者5名一人一人を紹介していきます。
趣味や研究内容から、環境省を目指した理由まで詳しく載せているので、ぜひ参考にしてみてください！

No.1 ほたる　(21・女)

基本情報

試験区分	土木
大学所在地	北海道
学部（研究科）	工学部
学科（専攻）	環境社会工学科
研究内容	有機フッ素化合物の分解除去
出身地	東京都
部活動・サークル	演劇サークル
趣味	ゲーム、料理
特技	ピアノ
好きなもの	甘いもの

就活事情

併願先（民間）	なし
併願先（他省庁等）	林野庁
インターン先	なし

大学3年

公務員を目指すため、春から大学の対策講座を受講し始める。

環境省の自然系と理工系、どちらを志望するか迷い、様々な説明会へ参加。

大学4年

総合職試験に1次で落ち、一般職へ切り替える。

一般職試験の1次試験に合格、OGの方とお会いして理工系に進むことを決める。

官庁訪問の後、最終合格。

内々定をもらう。

お菓子は食べるのも作るのも好きです！

サークルでは、役者として出演することもありました

環境省を志望した理由

私が環境保全について興味を持ち始めたのは、高校1年生の時に読んだ森林と海の相互関係について書かれた本がきっかけでした。元々は漠然と**海**へ関心を持っていたのですが、その本を読んだことで、**森林環境保全の重要性**を感じました。

環境問題は**国や世界全体で取り組むべきもの**であり、制度作りなどで大きく変えていく必要があると考え、そのために自分は**国に関わる公務員になりたい**と思い環境省を志望しました。

最初は森林環境に興味があったのもあり自然系を志望していましたが、進学したのが工学系だったことや、説明会などで理工系の業務の幅広さに魅力を感じたことから理工系を進路に選びました。

成功談

OGの方とお話ししたこと。
実際の業務内容や雰囲気を細かく教えてもらったり相談に乗ってもらったりして、とても良い経験になりました。

失敗談

専門試験の対策が遅かったこと。総合職の試験に間に合わせることができす、メンタル面もかなり落ち込みました。苦手分野とわかっているものはきちんと対策しましょう。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

自分のやりたいこと、興味のあることを**絞りすぎないこと**が大事だと思います。

たとえば私が興味のあった森林環境について、「森林」とつけば範囲は限られますが、それを取って「環境」と考えれば幅広くいろいろなことを対象にすることができます。

自分にとっての選択肢がたくさんあれば、何かあったときに後悔の無いように進むことができると思います。そのためには、説明会に参加したりいろいろな人の話を聞いたりして、**情報を多く集めていくことが重要になると**思います。そこで得たものは決して無駄にはならないので、いろいろと考えながら活用していってください。

No.2 アマゴ（23・男）

基本情報

試験区分	土木
大学所在地	東京都
学部（研究科）	理工学研究科
学科（専攻）	建設工学専攻
研究内容	サウンドスケープ
出身地	千葉県
部活動・サークル	音楽サークル
趣味	レコード収集
特技	DJ
好きなもの	硬いグミ・音楽

就活事情

併願先（民間）	なし
併願先（他省庁等）	国総研
インターン先	なし

大学3年

教養科目の授業でサウンドスケープという概念を知る。

大学4年

景観を専門とする研究室に配属され、サウンドスケープをテーマに研究に取り組む。

大学院1年

卒業研究で訪れた研究対象地に長期滞在。

大学院2年

博士課程進学と迷った末、国家公務員一般職を志望する。

官庁訪問などを経て内々定をもらう。

レコード屋さんを巡っていろいろ掘るのが好きです

渓流や昔からの用水がまちなかを流れる地域を対象に研究しています

環境省を志望した理由

大学での音楽の教養科目を通じてサウンドスケープを知り、自分の専攻する**土木**や、土木におけるデザイン、まちづくりと自分の好きな音楽を結びつける概念に興味を持ちました。

その後、土木分野の中でも景観・デザインを専門とする研究室に配属され、興味を抱いていたサウンドスケープをテーマに卒業論文に取り組みました。文献を調べていくうちに、「残したい日本の音風景100選」の取り組みが環境省によって行われていたことを知り、環境省に興味を持ちました。研究を行うにあたって対象としたフィールドも環境省の「名水百選」の第一号に選ばれた湧水のある町で、**環境省は研究を行う中でよく目にする省庁**でした。

研究では地方に長期滞在する機会が多く、**いろいろな地方に出向きながら国政に携わりたい**と思い、国家公務員一般職を考え、その中でも、自分が興味ある分野に携わってきた省庁で働きたいと考えたうえ、環境省を志望しました。

成功談

官庁訪問の際に、自分が迷っていたことや気になっていたことを**素直に尋ねられた**のが良かったと思っています。自分を売り込むだけでなく、**志望する省庁が自分に合っているか確かめること**も重要だと思います。

失敗談

研究室で動かしていたプロジェクトと筆記試験のタイミングが被り、余裕をもって勉強に取り組めなかったです。研究などにチームで取り組んでいる方はスケジューリングに気を付けた方が良いと思います。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

自分のやりたいことだけでなく、**志望先が自分に合っているか吟味すること**も大切だと思います。

特に官庁訪問は、実際に働いている人と会話できる貴重な機会だと思います。自分をアピールすることだけで精一杯になってしまいがちですが、会話を通じて**組織の内側で働いている人となりを窺い知ることもできる**と思います。自分が働きたいところにはどんな人がいて、どういう考え方で働いているかを知ることは、業務の内容を知ることと同じくらい重要に思います。

就活は緊張する機会が多いですが、こっちからも気になっていることを聞いてやる！くらいの心意気の方が気楽に臨めて情報も得られて一石二鳥だと思います。何事も楽しめるように心掛けると、意外と得することも多いかもしれませんよ？

No.3 れおな　(23・女)

基本情報

試験区分	機械
大学所在地	兵庫県
学部（研究科）	海事科学部
学科（専攻）	海洋安全システム科学科
研究内容	魚類に対するMPの摂取量
出身地	大阪府
部活動・サークル	ジャグリング
趣味	手芸、ゲーム
特技	衣装づくり
好きなもの	和菓子

就活事情

併願先（民間）	なし
併願先（他省庁等）	防衛省の海上自衛隊
インターン先	なし

大学3年

公務員に向けて12月あたりから勉強開始。

大学4年

総合職を受けたものの官庁訪問で落ち、大学院の試験に向けて切り替える。

大学4年(再)

留年したので、再び公務員を目指す。

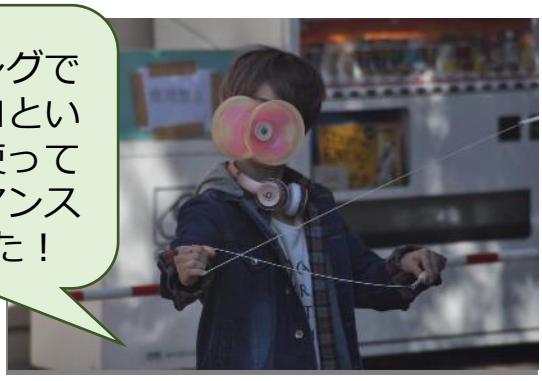
総合職のリベンジと一般職を受験。

一般職の１次試験に受かり官庁訪問の後、最終合格。

内々定をもらう。

衣装づくりのお供！
部屋においてると
ちょっと怖い、、、

ジャグリングで
ディアボロという道具を使って
パフォーマンス
してました！



環境省を志望した理由

大学で**環境に関する授業が多く**普段から環境分野に触れていたことから環境に興味がわくようになりました。さらに卒論ではマイクロプラスチックを扱っていることもあり特に**海洋環境**に興味を持つようになりました。

また、世間的にも環境に対して関心が高まっており、**再生可能エネルギーの普及をはじめとする脱炭素への取り組みや海洋プラスチックに関する政策**に関わっていきたいと思い志望しました。

成功談

アルバイトを全力でやっていたこと。
アルバイトでチーフという立場で経営の部分にも関わらせてもらい、様々な視点で物事が考えられるようになりました。

失敗談

１次試験が合格してから説明会に行き官庁訪問の準備とバタバタしてしまい余裕がなかったので前もって計画的にするべきでした。

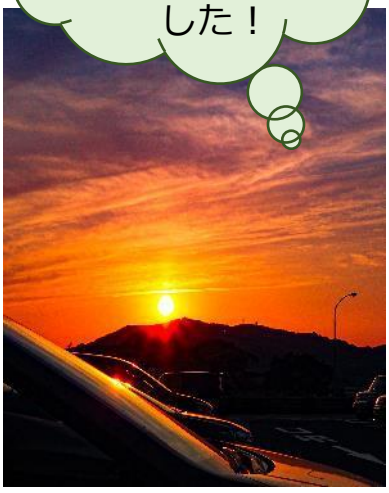
環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

就活していると志望動機や入省してからりたいことなどたくさん聞かれると思います。これを機に**自分のやりたいことを見つめ直す**のもありだと思います。

自分はできませんでしたが、**たくさん説明会に行くとい**いと思います。そこで様々な人の話を聞き視野を広げていくといいと思います。

公務員の就活は民間企業と比べて一般的に遅めなのでメンタル的にしんどいと思いますが最後まで諦めず頑張ってください！応援してます！

カメラの練習しててて、これは家族で旅行に行ったときに撮りました！



No.4 ぐったりパンダ(24・女)

基本情報

試験区分	化学
大学所在地	神奈川県
学部（研究科）	理工学研究科
学科（専攻）	基礎理工学専攻
研究内容	進化実験
出身地	東京都
部活動・サークル	なし
趣味	カレー、街歩き
特技	韓国語
好きなもの	生き物

就活事情

併願先（民間）	なし
併願先（他省庁等）	農林水産省
インターン先	なし

大学院1年

説明会や座談会に参加して環境省に興味をもつ。

過去問を取り寄せる。勉強開始。

大学院2年

一般職１次試験合格、別省庁で内々定。
しかし一般職最終不合格。

再チャレンジを決意して研究に没頭。

就職浪人1年目

4月　心機一転勉強開始

6月　総合職合格するも内々定なし…

7月　一般職で環境省内々定

8月　一般職最終合格＆内定

カメラロールは
カレーの写真で
いっぱい

サボテンに
囲まれご満悦。
植物の構造って
すご～

環境省を志望した理由

生き物が好きで、**多様な生命が育まれた地球を守りたい！**と思ったのが環境省に興味をもったきっかけです。はじめは、人間は悪者！人間による環境破壊を食い止めたい！という思いでしたが、説明会に参加して現実の課題や環境省の取組みを知り、人間がいてこその地球環境だと考えが変わりました。そして、環境保全と経済活動を両立する方法を考えるなかで、**地域循環共生圏の形成こそが必要**だと感じ、自分もその取組みに加わりたいと思いました。

フィールドとして**国**を選んだのは**「環境意識の高い仲間づくり」を広く後押しできる**と感じたからです。環境課題を解決するにはさまざまなアプローチがあり、例えば個人のアクションだったり自治体の取組みだったり技術開発だったり、、、私はそのどれか１つに加わるのではなくて、行動する人を増やしていくことが一番の近道だと思いました。**環境意識の高い人が行動しやすいようにレールを敷く仕事がしたい**と思い、環境省を志しました。

成功談

面接担当の方にアドバイスを求めたこと。おかげで官庁訪問のなかで成長でき、その成長をアピールできたのも内定につながったと思います。

失敗談

面接対策を充分にしなかったこと。筆記試験の勉強に集中しすぎて基本的な面接練習すらしていませんでした。総合職の官庁訪問では全くうまくいかずかなり落ち込みました。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

業務説明をきいてみましょう！魅力的な仕事などたくさんの気づきがあると思います。環境省の方向性と自分の目指す場所が一致するか、たくさん考えてください。

官庁訪問で職員と話してみましょう！環境省への思いを言葉にすることで、自分のなかでやりたいことがどんどん具体的になり、志望動機にも説得力が出てきます。

私は３度目の官庁訪問で内定をもらいました。面接で失敗しても挽回の機会はいくらでもあるし、**むしろ成長をアピールするチャンス**かも。熱い想いがあるなら諦めず挑戦してみてはいかがでしょうか！

素敵なカフェ。
ここで自慢しておきます

No.5 れて　(22・女)

基本情報

試験区分	農学
大学所在地	東京都
学部（研究科）	生命科学部
学科（専攻）	分子微生物学科
研究内容	花と昆虫特有の乳酸菌について
出身地	神奈川県
部活動・サークル	卓球同好会
趣味	フェスに行くこと
特技	虫とり、風呂敷
好きなもの	揚げ物

就活事情

併願先（民間）	なし
併願先（他省庁等）	農林水産省
インターン先	なし

大学2年

公務員を目指すことを決める。

予備校に通い始め、教養の勉強を開始する。

大学3年

専門の勉強を始める。

夏頃から志望省庁を絞り、説明会や座談会に参加する。

大学4年

総合職の官庁訪問を通して、環境省で働きたい意志が固まる。

一般職の官庁訪問で再チャレンジし、最終合格後に内々定をいただく。

揚げ物が大好き！
就活の息抜きで
食べにいきました。

地元には
富士山が綺麗に
見える場所が
たくさんあります。

環境省を志望した理由

大学生時代は、通学や旅行など地元を離れる機会が多くありました。このように遠出して普段と異なった気候や自然に触れたとき、**暮らしやすい地元で環境から大きな恩恵を受けていること**に気づき、環境を守る立場の仕事に興味を持ちました。

地元の環境を守りたいという思いがあったので、実際に技術の開発に貢献できる民間企業や、その地域により密着できる地方公務員も進路の選択肢として考えていました。しかし環境問題に対しその地域を限定して考えるよりも、**日本や世界という広い視点で考える立場になった方が、自分自身できることが多くなるのではないか**と考え、環境省を志望しました。

大学での専門は微生物学でしたが、経営のマネジメントに関する講義を受けて、**技術を社会でどう運用するかを考えられる立場**を目指すようになり、理工系を選びました。

成功談

環境省の**説明会にたくさん参加したこと**。官庁訪問では、仕事内容を説明していただく機会が多いですが、説明会で一度聞いていると職員の方のお話が理解しやすかったです。

失敗談

就職活動に計画性が足りなかったこと。民間企業の説明会にも参加しましたが、公務員系と両立できずほぼエントリーしませんでした。良い経験でしたが、無駄が多かったなと思います。

環境省を目指す人へのメッセージ・アドバイス

「自分が社会人になってやりたいこと」は明確にしておくべきだと思います。やりたいことは何なのか、なぜやりたいのか、具体的にどういう方法で成し遂げたいのか、というふうにやりたいことに関して最初から最後まで話せると、もっと話を聞いてみたいと思ってもらえると感じます。

さらに、**どんな仕事にも興味が持てる柔軟性**が大事だと思います。私自身、官庁訪問の際は柔軟性を意識して面接に臨みましたが、職員の方から学ぶことが多く、環境省で働きたい理由がさらにはっきりとしました。

皆さんが就職活動を通じて自分の軸を見つけ、ベストな進路を選択できることをお祈りしています！